

教育指導課

英語でのコミュニケーションを楽しむ
イングリッシュ・キャンプ in 庄原



グループワークを楽しむ児童生徒

8月7日、市内の小学5・6年生および中学生を対象に「イングリッシュ・キャンプ in 庄原」を庄原市総合体育館で行いました。

これはALT（外国語指導助手）と英語で交流することを通して、国際感覚を養ったり、これまでに習得した英語を使ったコミュニケーション能力を生かしたりすることを目的に実施しているものです。

本年度は初めて小学生も参加するなど、26人が参加し、6人のALTと一緒に、ゲームやグループワークなどを通して、英語でのコミュニケーションを楽しみました。

参加した児童生徒からは「英語で話したり、みんなでゲームをしたりして楽しかった。また参加したい」「自分に足りていなかった対話力や、その場で文章を考え話す力が成長したと思う」などの感想がありました。

教育指導課

中学生が語る、社会と自分のつながり
令和7年度庄原市中学生意見発表大会



観客の前でスピーチする増永さん

8月22日、庄原市ふれあいセンターで、庄原市中学生意見発表大会を開催し、13人の中学生が参加しました。

参加者は、社会と自分の関わりなどについて発表し、それぞれの思いや決意、感謝の気持ちについて、力強く語りました。

審査の結果、青少年育成庄原市民会議会長賞、庄原市教育委員会教育長賞、増永 梓沙（西城中3年）特別賞、坂本 琥太（比和中3年）前門 柚希（庄原中3年）受賞者

庄原市中学生意見発表大会受賞者

青少年育成庄原市民会議会長賞
本 山 琉 弥（口和中3年）
庄原市教育委員会教育長賞
増 永 梓 沙（西城中3年）
特別賞
坂 本 琥 太（比和中3年）
前 門 柚 希（庄原中3年）

Camera Report
カメラレポート

●市内のイベントやまちの話題をお届けします。 行政管理課広報統計係 ☎ 0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

星空に咲く、光と音のアート

光と音のほしぞらシンフォニー in 国営備北丘陵公園・9/13

国営備北丘陵公園で「光と音のほしぞらシンフォニー」が開催されました。

このイベントは、同園の開園30周年とテレビ新広島の開局50周年を記念して行われ、会場では、はやぶさ2プロジェクトマネージャー・津田雄一さんによる講演や、ピアニスト・菊池亮太さんのライブなど、多彩なステージが繰り広げられました。

日が暮れると、無数のドローンが夜空に光のアートを描き出し、大輪の花火とともに夜空を彩りました。

来園者は「ドローンショーが幻想的で、子どもと一緒に楽しめて良かった」と話しました。



▲疑似宇宙旅行を体験する来園者



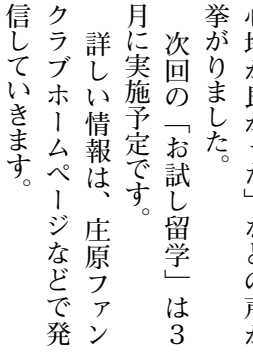
▲行列ができたドローン操縦体験ブース



▲夜空を彩ったドローンショー

地域推進課

さとやまで見つける、未来への一步
庄原さとやま留学「お試し留学（2泊3日）」



【ホームページ】

9月5日～7日に、西城地域で本年度2回目、19日～21日に東城地域で3回目となる庄原さとやま留学（お試し留学）を実施し、県内外から計7人の若者が参加しました。

西城地域では、Eバイクで棚田を散策、イチゴの収穫やぶどうの選果作業などを行ったほか、熊野神社周辺を見学しました。

東城地域では、東城の古い街並みを巡り、稲刈りやはで干し、米の袋詰め作業を行った後、時悠館や比婆荒神楽を見学しました。

どちらの回も、最終日に振り返りを行い、参加者一人一人が、留学を通じて感じた本市の良さや、地域を活性化させるための意見を出し合いました。

参加者からは「農作業の大変さを身をもって知ることができて良かった」「留学で関わった人がみんな温かく、居心地が良かった」などの声が挙がりました。

今回の「お試し留学」は3月に実施予定です。

詳しい情報は、庄原ファンクラブホームページなどで発信していきます。

生涯学習課

道後山の麓を彩るランナーたち
第26回ひろしまクロスカントリー大会



健脚を競うランナー

8月23日、道後山高原クロカントリーで、第26回ひろしまクロスカントリー大会を開催し、県内をはじめ、大阪府や新潟県、高知県など全国各地から総勢917人の選手が出場しました。

当日は、晴天のもと、東城ファイターズの吉岡佑馬さん（東城小6年）が選手宣誓を行い、大会の幕が開きました。

大会は、1キロメートルの部から8キロメートルの部までの7種目37部門で行い、1歳から88歳までの幅広い年齢のランナーが参加しました。

参加者は「初めて参加したが、想像以上にコースがきれいで驚いた。次は友人も誘って参加したい」と話しました。

西城支所

地域を結ぶ鉄路の維持を目指して
「芸備線・木次線の維持・存続につなげる」講演会



講演に耳を傾ける参加者

8月30日、西城自治振興センターで「芸備線・木次線の維持・存続につなげる」講演会を開催し、市内外から約90人が参加しました。

この講演会は、芸備線・木次線が、本市や西城町にとってかけがえのない資源であることを発信し、住民意識の醸成を図ることを目的に、神戸市外国語大学の太石高志教授を講師に開催しました。

参加した人は「芸備線・木次線が、改めて西城地域の豊かな資源であることを認識した」と話しました。

西城自治振興区の田村富夫会長は「芸備線・木次線の維持・存続は大きな問題。こうした『社会的共通資本』を地域の宝ものと捉え、残していきたい」と話しました。